

こころみ

2008.2.26



担当：教務主任会

= 基礎・基本を身に付ける授業過程 =
～考えをもたせたり、引き出したりする工夫～

これまでの「こころみ」では、板書構成と発問について考えてきました。今回は、学習過程の山場である子どもに考えさせる場について考えます。

考えるためにどんな活動をすればよいのかはっきりとしている**価値ある課題**にしましょう。
発表しあう場では、友達の発言を受け入れる雰囲気と伝えたいという意志をどう育てていくかが大切になると思います。また、考えをもたせたり、引き出したりするために、具体的に課題提示や発問について工夫していきましょう。

学習展開例 1

【小学校1年国語 くらべてよもう「じどう車くらべ」】

ねらい：教材文を参考にして、順序や文の続き方に気をつけながら、「しごと」と「つくり」を説明する文を書くことができる。

学 習 活 動	考えをもたせるための教師の働きかけと工夫
<p>1 学習課題を確認する。 ロードローラーの「しごと」と「つくり」を説明する文を書こう。</p> <p>② 絵を見て「つくり」を出し合う。</p> <p>③ 「つくり」をもとに「しごと」について考えを出し合う。</p> <p>④ ロードローラーを説明する文章を書く。</p> <p>5 書いた文章を発表し合う。</p> <p>6 学習をふり返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な課題提示 ⇨ 本時はどんな活動をするのか見通しをもてるようにする。 ・ 発問や板書において <ul style="list-style-type: none"> 比較する ⇨ 他の車との違いに気づかせる発問。 分類する ⇨ 部位別に整理して板書する。 繰り返す ⇨ なぜ、どうしてという理由付けをうながす。（「つくり」と「しごと」を関連づける。） ・ 書くことの系統的な指導と楽しい活動を相手意識、目的意識、発達段階に応じて（入門期）絵や文から読み取ったことをもとに自分なりの考えを書けるようにする。 ・ 「しごと」と「つくり」が整合しているか、何が書いてあればよいのかを提示し、話し合いにつなげる。 ・ 相互評価を指導に生かす 自分の文書よさ、友達の文書よさに目を向ける内容の良さや技能面の良さを見る規準を明示する。 ・ 自分の言葉でふり返りをさせ、教師が認めほめてあげることによって書くことや発表の意欲を高める。

子どもたちの“おや？”、“どうして？”“本当にそうなの？”を引き出し、“解決しよう”という気持ちを高めるために問題（教材）とその提示は重要になります。1時間の授業で子どもたちがわくわくした気持ちで解決しようとする事ができる問題とその提示を工夫してみました。

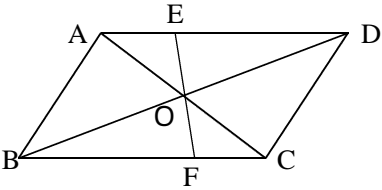
「実践例」

指導目標

・・・既習の図形の性質や合同条件、平行四辺形の性質を用いて、図形の中の長さが等しいことを証明することができる。

「教科書の例」

平行四辺形の対角線の交点をOとし、Oを通る直線がAD、BCと交わる点を下の図のようにE、Fとすると、 $OE = OF$ となります。このことを証明しなさい。

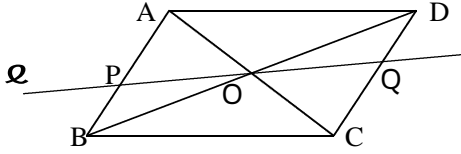


「子どもの課題意識を引き出す工夫」

- ・具体的な数値を取り入れる
- ・証明の必要性を引き出す

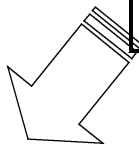
平行四辺形 ABCD の対角線の交点が O である。直線 l は点 O を通り、辺 AB、DC との交点がそれぞれ P、Q である。

$AB = 7\text{ cm}$ 、 $CQ = \frac{9}{2}\text{ cm}$ のとき、PB の長さを求めてみよう。



【私の疑問】


この問題提示で本当に証明の必要性を感じるだろうか？



学習課題の提示の前に、□のように解決の見通しについて話し合い、問題を解決するにあたって $PB = QD$ (or $CQ = AP$) の証明の必要性を実感させる。

$AB = DC$ で $PB = QD$ となるから、PB の長さを求めるには $7 - \frac{9}{2}$ を計算すればいい。

$CQ = AP$ となるから、PB の長さを求めるには $7 - \frac{9}{2}$ を計算すればいい。




その後、本時の学習課題（子どもの課題）を次のように設定した。（子どもの状況に応じて課題を設定）

学習課題

「本当に $PB = QD$ (or $CQ = AP$) になるといえるだろうか？」

〔指導目標〕

- 〔子どもの課題意識を高めるために問題とその提示の仕方を工夫する〕
- 〔問題解決の見通し（予想）を話し合う〕
- 〔学習課題提示〕

の流れで問題を解決しようとする気持ちを高める。